

番号	分類	学習・研修会	映像教材名	事例提供団体等
42	職	職員研修	「スクール・コンプライアンス小学校編」	天城町立天城小学校
43	学社	学級活動 家庭教育学級	「小学生のためのケータイ・ネット教室 ～こんなトラブルに気をつけて～」	伊仙町立伊仙小学校
44	学	人権教室	「みんな友だち」「みーつけた」「人権ってなんだろう」	伊仙町立面縄小学校
45	学	人権教室	「やさしいおおかみ」「プレゼント」 「自分の胸に手を当てて」	伊仙町立犬田布小学校
46	学	人権教室	「とべないほたる」「みーつけた！」 「ももいろのくれよん」	伊仙町立喜念小学校
47	社	家庭教育学級	「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットト ラブル予防教室」	伊仙町立面縄中学校

※ 事例を提供して下さった学校、教育委員会、教育事務所、各種団体の皆様、御協力ありがとうございました。

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	天城町立天城小学校		
学習・研修会名	職員研修(服務規律研修)	対象者	全職員
学習・研修内容	スクール・コンプライアンスに関する研修		
映像教材名	「スクール・コンプライアンス 小学校編」	種類・時間	DVD・22分
映像教材の概要	小学校を舞台にした信用失墜行為に係る事例を通してスクール・コンプライアンスの重要性を説いた作品。危機管理をいかにを行い、教職員としての高いモラルを保持するためにはどうすればよいか学べる内容である。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 研修の進め方についての確認 (3分) <ol style="list-style-type: none"> (1) 不祥事防止強化月間の周知 (2) 研修の内容とねらいについて 2 DVD視聴 (22分) <p>「スクール・コンプライアンス」</p> 3 グループ討議 (15分) <ol style="list-style-type: none"> (1) 感想の交流 (2) 気を付けていきたいこと など 4 発表(各グループより) (4分) <ol style="list-style-type: none"> (1) 各グループでの協議内容のまとめ (2) 今後の取組について 5 校長先生より (1分) 6 研修のまとめ (5分) <ul style="list-style-type: none"> ・ 服務規律ファイル(2学期の感想)の記入 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校を舞台にしたドラマの視聴を通して、学校で起こりうるスクール・コンプライアンスに関する事例を自分のこととして考えることができた。 ・ ビデオ視聴後に、グループごとのフリートーキングを行い、課題と今後の対策についてじっくりと話し合うことができた。 ・ 参加型の研修形態で意欲的に研修を深めることができた。 ・ グループで互いに率直に意見を伝え合うことで、意義深く心に残る研修となった。 ・ 今後の風通しのよい職場環境づくりに向けて今回の研修を生かしていきたい。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体名	伊仙町立伊仙小学校		
学習・研修会名	学級活動及び家庭教育学級	対象者	小学生 保護者
学習・研修内容	情報モラル		
映像教材名	「小学生のためのケータイ・ネット教室」 ～こんなトラブルに気をつけて～	種類・時間	DVD 30分
映像教材の概要	携帯電話を利用してネットトラブルに巻き込まれる小学生の事例をドラマで描き、これから携帯電話やインターネットを利用する子どもたちを対象に、安全で正しいケータイ・ネットの使い方を解説している。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用 の 実 際	1 はじめの言葉 本時の学習の流れやねらいについて簡単に説明する。		
	2 ビデオ視聴 「小学生のためのケータイ・ネット教室」 ～こんなトラブルに気をつけて～		
	3 講話 徳之島警察署の方の話		
	4 質問など		
	5 終わりの言葉 お礼や本時の振り返りを行う。		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ DVDにより映像と音声でネットトラブルの様々なケースをあげてあり、理解しやすい内容であった。「ID」や「パスワード」などの言葉についても説明があったが、低学年には聞き慣れない児童も多く難しかった様子だった。 ○ 映像教材等を活用する際は、きちんと機器をセットしたうえで映像や音声の確認をしておき、資料の準備が必要などときには準備をするなどしておく必要がある。 ○ 講話では、子どもたちが興味を持って話を理解できるように、クイズ形式で話があったり、身近な例を挙げて説明があったりして分かりやすかった。 ○ 終わった後に感想を交流し、学習を振りかえることができた。 		

映像教材活用事例(後期)

事例提供団体等名	伊仙町立犬田布小学校		
学習・研修会名	人権教室	対象者	全学年
学習・研修内容	人権に関する学習		
映像教材名	「やさしいおおかみ」 「プレゼント」 「自分の胸に手を当てて」	種類・時間	DVD・15分 DVD・17分 DVD・28分
映像教材の概要	<p>「やさしいおおかみ」・・・ いじめられ続けた気弱な『キバナシ』と呼ばれるオオカミが見せたやさしさ…本当の強さとは…。悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ、実はやさしい心を持ち本当の強さを持っていた。</p> <p>「プレゼント」・・・ 小学校4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントしたが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるをはじめめる。</p> <p>「自分の胸に手を当てて」・・・ 学校裏サイトの掲示板への心ない書き込みをきっかけに、不登校となる優子。そして、書き込んだ未唯もネットいじめのターゲットとなっていく。問題解決のために洋平は「子どもの人権 110 番」へ相談し、クラス全員で話し合うことになるが…。</p>		
教材借用先等	法務局		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権について教師の話聞く。 2 映像教材を視聴する。 1・2年「やさしいおおかみ」 3・4年「プレゼント」 5・6年「自分の胸に手を当てて」 3 感想を書く。 4 感想の発表 5 人権擁護委員の話聞く。 	 	 <p>【人権教室の様子】</p>
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びあい、気づきあうことを通して、自らのこととして考える学習となった。 ○ 視聴後の感想の記入や発表を通して互いの考えを交流することができ、人権意識を高めることができた。 ○ 発達段階や児童の実態に合った内容を準備したことで、子どもたちが意欲的に学習することができた。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	伊仙町立喜念小学校		
学習・研修会名	人権教室	対象者	全校児童
学習・研修内容	人権教育 ～ 自他の生命尊重 ～		
映像教材名	「とべないほたる」 「みーつけた!」 「ももいろのくれよん」	種類・時間	アニメ17分 アニメ18分 アニメ28分
映像教材の概要	とべないほたる・・・とべないほたるをみんなで助ける優しさ、ほたるを仲間の所に返してくれた優しい姉妹の話。 みーつけた・・・劣等感・疎外感を持ち自己主張できない少女に自分の言葉で表現することの大切さを訴える少年の話。 ももいろのくれよん・・・知的障がいのあるいとことのふれあいを通じて大切なことに気付いていく主人公の姿をテーマにしている話。		
教材借用先等	鹿児島地方法務局 奄美支局		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 はじめのことば <ol style="list-style-type: none"> (1) 人権擁護員の方の紹介 (2) 人権とは (3) 人権教室のねらいについて <ねらい> いのちの大切さを人権の観点から見つめ直させることで、自他の生命を尊重しようとする態度を育てる。 2 人権擁護委員の方の話 偏見や差別意識の解消に向けて、一人一人の意識について問いかける。 3 ビデオ視聴 <ol style="list-style-type: none"> 1・2年生・・・DVD 「とべないほたる」 3・4年生・・・DVD 「みーつけた!」 5・6年生・・・DVD 「ももいろのくれよん」 4 感想記入 人権擁護員の方の話やDVD視聴をした感想、自分が人権教室を受けて思ったことや考えたことをまとめる。 5 発表 各学年数名ずつ感想を発表させ、思いを共有する。 6 講評 学習全体や感想について講評する。 7 終わりの言葉 指導者で本日の学習を振り返りまとめる。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像教材を活用することで、子どもたちが興味を示し、自然に学びを深めることができた。 ○ 視聴後の意見の交流をとおして、いろいろな考え方があつたことを知り、自分を振り返る良い機会となつた。 ○ 知識として習得したことを、実践化していくためには、今後も継続した指導が必要である。 		

映像教材活用事例（後期）

事例提供団体等名	伊仙町立面縄中学校		
学習・研修会名	家庭教育学級	対象者	保護者
学習・研修内容	ネットトラブル予防		
映像教材名	ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室	種類・時間	DVD・10分
映像教材の概要	ネット社会の実態と危険性を啓発すると同時に、ネットトラブルに遭遇したときの対処法を学ぶことを目的としている。		
教材借用先等	学校所有教材		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマ説明とグループづくり <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習のねらいや目的について簡単に説明する。 (ねらい) <ul style="list-style-type: none"> ○ ネット社会の現状や二面性，特性の理解と認識を深める。 ○ 生徒がネットトラブル合わないための対処法を確認し，親の役割を学ぶ。 (2) 4人程度の人数でグループをつくり，司会者・記録・発表者を決める。 2 グループになり，家庭でのネット環境やネット利用についてフリートーキングを行う。 3 DVD視聴 「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」 4 個人学習 グループ協議とDVDの内容を踏まえて，ネットトラブルについて整理する。 5 グループ学習「ネットトラブルへの予防」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日の学習を踏まえて，ネットトラブルへの予防に向けて，家庭でできることをグループで整理する。 6 学習のまとめ 指導者で本日の学習の振り返りまとめをする。 		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 携帯電話の使用について，現状を知ることができた。 ○ ネットの現状について分からない，知らないことを確認できた。 ○ 親が子どもの携帯電話の使用について積極的に関与することを確認できた。 ○ 家庭で携帯・スマホ使用の決まりを作ることが確認できた。 ○ 生徒にもDVDを鑑賞させることで，家庭で親子で話し合う機会にしたい。 		